

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年7月26日～2018年8月1日)

平成 30 年(2018 年)8 月 3 日

H E A D L I N E S	
<p><b>政治</b>                      ドゥダ大統領, 司法制度関連法修正案に署名                      ドゥダ大統領, 高等教育改革法に署名                      ワルシャワ蜂起74周年記念式典の開催                      チャプトヴィチ外相, 米国を訪問                      ポーランド軍, 米軍によるペトリオットミサイル準備訓練に参加                      イタリア企業, 次期攻撃ヘリコプター開発計画への参加を打診</p>	
<p><b>治安等</b>                      国境警備隊, 暗視カメラ等の特殊機器を装備した新型パトロール車両の配備を発表                      ブイドゴシュチュ市内で刃物を使用した通り魔事件が発生                      ポーランド語版クルアーン新訳が発刊予定                      国境警備隊, ウクライナ人密入国あっせん業者を摘発                      検察, 不適切な利益供与の疑いで公安庁(ABW)元長官を公訴                      警察, ルブリン近郊で連続路上強盗に関与した犯罪組織を摘発                      国境警備隊, トルコ人密入国者を拘束                      警察, ルブスキエ県で開催される大規模野外音楽イベントに関する警備を本格化                      ジョージア人グループによる両替所利用者を狙った車上強盗</p>	
<p><b>経済</b>                      新たな外国人労働者政策                      閣僚評議会, 干ばつ等の被害を受けた農家への支援策を採択                      2018年の農作物の収穫量予測                      6月の季節調整済み失業率                      7月の購買担当者景気指数(PMI)                      地方における橋梁建設支援プログラム                      英国企業による触媒工場の建設                      ドゥダ大統領, 廃棄物管理に関する法律改正案に署名                      Energa 社社長の解任                      ブリヂストン社のポズナン工場への投資                      二酸化炭素排出量削減を目的とした輸送手段の開発                      石炭輸入量の増加                      Orlen 社, バイオエタノール工場の建設を検討                      地熱発電の現状                      エネルギー取引市場の確立                      今夏における電力需要の状況                      台湾との人材交流及び科学技術協力に関する協定締結</p>	
<p><b>大使館からのお知らせ</b>                      長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意                      欧州でのテロ等に対する注意喚起                      「たびレジ」への登録のお願い                      パスポートダウンロード申請書の御案内                      クラクフでの領事出張サービスに関する御案内                      海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について                      大使館広報文化センター開館時間                      文化行事・大使館関連行事                      読者からのお知らせ</p>	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。                      問合せ先: 大使館領事部 電話 22 886 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍, 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>

在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 <a href="http://www.pl.emb-japan.go.jp">http://www.pl.emb-japan.go.jp</a>	
--	--

## 政 治

## 内 政

ドゥダ大統領、司法制度関連法修正案に署名【7月26日】

7月26日、大統領府は、ドゥダ大統領が検察法及びその他の法律に関する改正法に署名した旨を発表した。同法では、最高裁判所総会による最高裁判所長官候補の大統領への提案が、全体の3分の2にあたる80名の最高裁判官任命後に行われるとしており、現行法の110名から条件が引き下げられた。

ドゥダ大統領、高等教育改革法に署名【8月1日】

8月1日、ドゥダ大統領は、高等教育改革法（「高等教育及び科学に関する法律」、通称「学術憲章」）

に署名した。同法は、大学の活動、財政及び学者のキャリア形成等、高等教育分野の広範囲にわたる改革法であり、本年10月1日より施行される。

ワルシャワ蜂起74周年記念式典の開催【8月1日】

8月1日、ワルシャワ蜂起74周年の記念行事が市内各地で開催された。ワルシャワ蜂起が開始された午後5時にサイレンが鳴らされた後、ドゥダ大統領及びモラヴィエツキ首相をはじめとする政府・国会要人の参加の下、市内ポヴォンスキ墓地の記念碑にて式典が開催された。

## 外交・安全保障

チャプトヴィチ外相、米国を訪問【7月25～26日】

25～26日、チャプトヴィチ外相は米国を訪問し、ボルトン国家安全保障補佐官等とノルドストリーム2ガスパイプライン計画、両国間の軍事、エネルギー及び経済分野での協力等について議論した他、今後行われるドゥダ大統領の米国訪問について協議した。チャプトヴィチ外相は、ポーランドにおける米軍のプレゼンスが継続されること、増強され恒久的なものとなることを望むと述べた。

ポーランド軍、米軍によるペトリオットミサイル準備訓練に参加【7月27日】

27日、ポーランド軍は、米軍がオクラホマ州シル基地で行うペトリオットミサイル準備訓練に参加した。同訓練は全6か月間の訓練であり、当初の3か月間は基礎的な知識、システム操作方法、緊急時のシナ

リオ及びその他技術的な知識の訓練となる。参加人員についても、準備訓練の進展に合わせて適宜増員される予定。

イタリア企業、次期攻撃ヘリコプター開発計画への参加を打診【7月31日】

31日、イタリア・レオナルド社は、次期攻撃ヘリコプター（AW249）開発計画への参加をポーランド軍事産業グループ（PGZ）に打診した。同計画は、ポーランド国防省が計画するクルク計画（攻撃ヘリコプター近代化計画）の要求を満たすものである。また、同開発計画によると、新たな攻撃ヘリコプターが完成するのは2023年とされており、逐次旧型のものとの換装されていくことになる。現在のところ、同開発計画内において、PGZが同社と協力する見通し。

## 治 安 等

国境警備隊、暗視カメラ等の特殊機器を装備した新型パトロール車両の配備を発表【7月27日】

27日、国境警備隊は、暗視カメラや画像分析装置などの特殊機器を備えた新型パトロール車両23両（総額4,000万ズロチ相当）の購入契約締結を発表した。同車両の導入は、内務・行政省の進める装備近代化プログラムの一環で実施されるもので、新型車両はトヨタ自動車のオフロード車をベースとしたものとなり、山岳地帯や山林などでの監視能力向上が期待されている。新型車両は、今年12月までに納入され、東側国境付近に配備される予定。

ブイドゴシュチュ市内で刃物を使用した通り魔事件が発生【7月28日】

28日深夜1時ころ、ブイドゴシュチュ市内中心部の路上で、男性が背後から鋭利な刃物で刺され重傷を負う事件が発生した。警察が監視カメラの映像等を下に捜査を進めた結果、同事案は同市在住の14歳の少年によるものと判明し、少年は事件現場付近で警察に拘束された。同少年には多数の補導歴があり、事件当時は酒に酔った状態で、理由無く無差別に襲撃を行ったとされる。

**ポーランド語版クルアーン新訳が発刊予定【7月30日】**

30日、国営通信PAPは、当地のイスラム団体・ムスリム宗教連合(MZR)が編さん作業を進めているイスラム教の聖典クルアーンの新訳が2018年秋に発刊されると報じた。新訳は、最初のポーランド語版クルアーンが発刊から160周年に合わせて発刊されるもので、現代の言葉遣いに合わせた平易な表現で編さんされている。ポーランド語版クルアーンは、1858年発行の初訳版以外にも、1986年に発行された新訳版が存在しているが、両版とも詩的な表現や難解な表現が多用されているため、今回新たに発行される新訳版で門戸拡大が期待されている。今回発刊される新訳の翻訳を担当するのは、ポーランド人イスラム教徒(タタル)のムサ・チャホロフスキで、編さんは、トルコ宗教庁(DIYANET)の資金援助の下、実施されている。

**国境警備隊、ウクライナ人密入国あっせん業者を摘発【7月30日】**

27日から28日にかけて、国境警備隊は、ポーランド・ウクライナ国境ほど近いポドカルパツキエ県ビェシュチャディ周辺でウクライナからの不法入国を試みたシリア人1人、トルコ人8人を相次いで拘束した。これらの不法移民は、ポーランドに在住するウクライナ人密入国あっせん業者の手引きで密入国を図っていたもので、同業者に密入国仲介料として6,000~10,000米ドルを支払っていたとされる。いずれの密入国者も、最終目的地はドイツや西欧諸国であった旨供述している。なお、今次摘発時、国境警備隊はウクライナ人密入国あっせん業者についても同時摘発している。

**検察、不適切な利益供与の疑いで公安庁(ABW)元長官を公訴【7月31日】**

31日、ビャウストク地方検察庁は、一般人に不適切な利益供与を行ったとしてボンダリクABW元長官(在職期間2007~2013年)を公訴した。検察によれば、ボンダリク元長官は、物的利益を目的に、情報漏えいのおそれのある人物を不正にABW相談役に任用した嫌疑があり、有罪となった場合、10年以下の禁錮が科せられる可能性がある。

**警察、ルブリン近郊で連続路上強盗に関与した犯罪組織を摘発【7月31日】**

31日、警察はプワヴィ(ルブリンの約45キロ南東)で複数の路上強盗に関与した犯罪組織を摘発した。同組織は、女性1人、男性2人で構成され、おとり役の女が標的を酒に誘い、警戒心を解いて店外に連れ出した後、男が2人がかりで襲撃し、金銭や貴重品を奪い取るなどの手口で強盗を繰り返していた。容疑者の男2人には本件以外にも多数の犯罪歴があり、15年以下の禁錮が求刑される可能性がある。

**国境警備隊、トルコ人密入国者を拘束【7月31日】**

31日、国境警備隊は、キエフ発プシェムイシル行の長距離列車で、車内のトイレに潜み密入国を試みたトルコ人を拘束した。同人はワルシャワ経由でスウェーデンに移動する計画であった旨供述しており、ウクライナに送還された。

**警察、ルブスキエ県で開催される大規模野外音楽イベントに関する警備を本格化【7月31日】**

ルブスキエ県では、例年、夏期に国内最大規模の野外コンサートが開催されており、同イベントの安全確保が課題となっているところ、警察は同イベントに関する警備を本格化させている。今年のイベントは、昨年まで使用されていたウッドストックから改名し、Pol & Rock Festivalと命名され、8月2日から4日までの期間、ポーランド・ドイツ国境近くのコストシン・ナド・オドロンで開催される。警察は、イベント期間中、連日、地元自治体や関係機関と共同ブリーフィングを開催するなど密に情報共有を図り、不測の事態に備えている。

**ジョージア人グループによる両替所利用者を狙った車上強盗【8月1日】**

国家警察本部は、オストロウエンカ(ワルシャワの約120キロ北東)で、車上強盗に関与した容疑でジョージア人グループを摘発した。同グループは、本年7月22日、オストロウエンカ市内の両替所に入った女性客の車のタイヤをパンクさせ、両替を終え、車両を発進させようとした女性がパンクに気づき車両を停止させた隙に車両の助手席側のガラスをたたき割り、女性のかばんを強奪したとされる。警察は、同グループが使用していた盗難車から容疑者の身元を割り出し、事件の2日後、ジョージア人男性3人を逮捕した。容疑者の使用していた盗難車からは、犯行時に使用されたとみられる覆面、鉄串等が発見されており、警察は余罪の可能性を含め捜査を継続している。

## 経 済

## 経済政策

**新たな外国人労働者政策【7月27日】**

政府は、9月に発表予定の新たな外国人労働者

政策において、留学生及び高度技能労働者に対するインセンティブの付与を検討している。国内の

労働力不足を受け、投資・開発省及び家族・労働・社会政策省は新たな社会・経済政策を準備しており、2018～2025年の事業予算は29億ズロチと見積もられている。このうち、16億ズロチはEU基金から手当てされ、留学生向けの奨学金や海外移住から帰国するポーランド人向けのインセンティブに割り当てられる予定。人材会社 Otto Work Force の専門家によると、チェコが滞在許可の発給を倍増したことなどにより、ポーランドでのウクライナ人労働者の雇用がますます困難になっているとされる。また、ワルシャワ大学関係者は、ウクライナだけではなくアジアやアフリカからの移民にも門戸を

広げるべきと指摘した。

#### 閣僚評議会、干ばつ等の被害を受けた農家への支援策を採択【7月31日】

モラヴィエツキ首相は、火曜日の閣僚評議会において、今年干ばつや洪水被害を受けた農家を対象に7億9,950万ズロチの支援を採択したと発表した。アルダノフスキ農業・農村開発大臣によると、穀物の70%以上の損害が発生した農家に対しては、1ヘクタールあたり1,000ズロチが支給されるという。

### マクロ経済動向・統計

#### 2018年の農作物の収穫量予測【7月31日】

中央統計局(GUS)によれば、干ばつの影響により、2018年の小麦の収穫量は昨年比16%減の840万トン、その他の穀物については、播種期の状況次第で9～20%減となると予測される。ただし、専門家は小麦やパンの価格は約3.5%増に止まり、インフレ率には影響しないと見ている。更に、果物については昨年よりも豊作が見込まれることから、食料価格の押し下げに寄与するとの見方もある。

#### 6月の季節調整済み失業率【7月31日】

ユーロスタットによると、6月のポーランドの季節調整済み失業率は3.7%、EU28か国の平均失

業率は6.9%となった。

#### 7月の消費者物価指数【7月31日】

中央統計局(GUS)の速報値によれば、7月の消費者物価指数(CPI)は対前年同月比2.0%増、対前月比0.1%減となった。

#### 7月の購買担当者景気指数(PMI)【8月1日】

IHS Markitによると、7月の購買担当者景気指数(PMI)は、52.9ポイントとなり、6月の54.2ポイントより低下したものの、引き続き景気の拡大・縮小の分岐点である50を上回る状態が続いている。

### ポーランド産業動向

#### 地方における橋梁建設支援プログラム【7月25日】

モラヴィエツキ首相は、地方自治体が橋梁を建設する際、国が最大で費用の80%を負担する財政支援プログラムに署名した。同プログラムには23億ズロチ(5.3億ユーロ)が充てられており、最長で2025年までの支援が見込まれている。

#### 英国企業による触媒工場の建設【7月26日】

英国のジョンソン・マッセイ社は、自動車エンジン用触媒を製造する工場をグリヴィツェに建設すると発表した。同社は同工場建設に4.5億ズロチ(1.048億ユーロ)を投資予定で、工場稼働は2019年前半を見込んでいる。

#### ドゥダ大統領、廃棄物管理に関する法律改正案に署名【7月27日】

ドゥダ大統領は、廃棄物不法投棄問題への対策を定めた廃棄物管理に関する法律の改正案に署名した。同改正案は、廃棄物管理者に地方自治体に対して保証金を払うことを義務づけているほか、

廃棄物管理場への監視カメラの設置、廃棄物管理場での廃棄物の1年以上の保管の禁止、廃棄物回収業者に対する開業時の土地利用権証明義務の付与、違反者への罰金の強化や保護観察官の権限の強化も盛り込んでいる。

#### Energa 社社長の解任【7月31日】

国営エネルギー企業 Energa 社は、シフコ社長を解任したと発表した。シフコ社長は就任1か月での解任となり、政治的な理由も噂されている。社長代理には、今年2月から7月まで同社の社長代理を務めていたクリミウク副社長が就任することが決まった。Energa 社はポーランドの4つの最大手電力企業の一つであり、300万以上の顧客を抱えている。

#### ブリヂストン社のポズナン工場への投資【8月2日】

ブリヂストン社は、同社のポズナン工場に7億ズロチを投資し、新技術の開発や生産最適化を行うと発表した。同社は、同投資により、新型タイヤの

開発促進や1日あたりのタイヤ生産量の向上(現在の31,000本から40,000本)を見込んでい

る。

## エネルギー・環境

### 二酸化炭素排出量削減を目的とした輸送手段の開発【7月27日】

環境保護水管理基金は、二酸化炭素排出量削減に資する輸送手段の開発促進を目的に、地方自治体に対し、電気や水素エネルギーを用いた自動車やそれに伴うインフラの開発のための支援として100億ズロチを投資すると発表した。

### 石炭輸入量の増加【7月27日】

ユーロスタットのデータによれば、ポーランドは2018年1月から同5月までに700万トンの石炭を輸入しており、うち500万トン強がロシアからの輸入となっている。2017年の石炭輸入量は1,330万トンで、ロシアから輸入は900万トンであった。政府は、ロシアからの石炭輸入に上限を設定する法改正案を作成するなどして規制を試みているが、現在のところその効果は見られない。現在のペースのまま石炭の輸入量が増加した場合、2018年末には1,500万～1,700万トンに達すると見られている。

### Orlen社、バイオエタノール工場の建設を検討【7月30日】

国営石油・エネルギー企業 Orlen 社は、ポドカルパツキエ県イェドリチャに年間25,000トンのバイオエタノールを製造する工場の建設を検討している。同社は、同計画について、2020年までに液体燃料のうち再生可能燃料とバイオ燃料の占める割合を8.5%に引き上げるとする目標を見据えたものとしている。

### 地熱発電の現状【7月31日】

国内各地で地熱発電の熱源の探索が行われているが、ポーランドでは熱水が地中深部に存在するため、掘削経費が高騰する、作業見通しが難しい等の課題がある。これらを踏まえ、環境省は地熱発電所の倍増を目指し、資金援助を行う等の動きを見せている。

### エネルギー取引市場の確立【7月31日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、8月1日から全ての電力の販売は取引市場で実施されると発表し、透明性が担保され、かつ競争条件のある条件で取引されることが、電力価格の安定に資すると述べた。PGE, Enea, Tauron, Energaなどの電力会社の電力は、ポーランド電力取引所(TGE)を通じて販売されることになる。今年1月、エネルギー省は、電力会社に発電量の約30%をTGEで売却することを義務付けたが、取引所における流動性が確保できないことが課題となっていた。

### 今夏における電力需要の状況【7月31日】

今夏の電力需要は6月21日に最高値(23.5GW)を記録した。最近の熱波は発電所の冷却水に使用される河川や湖の水温を上昇させ、発電所に影響を与え得るが、国営送電企業PSEによれば、2015年の電力危機以降、ドイツ、リトアニア等からの送電設備の増設及び改善、再エネ設備の増設など電力の供給対策を十分に実施しており、問題ないとしている。

## 科学技術

### 台湾との人材交流及び科学技術協力に関する協定締結【7月27日】

ポーランドは台湾と人材交流及び科学技術協力の発展に関する協定を締結した。同協力の対象分野はバイオテクノロジー、情報・コミュニケーション

テクノロジー、半導体製造とされている。ダルジンスキ教育副大臣は、台湾の技術・経済成長は中小企業によるものであり、アプローチの異なる日本や韓国よりも状況が近いとしている。

## 大使館からのお知らせ

### 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

[http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/oshirase\\_schengen\\_2.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html)

### **欧州でのテロ等に対する注意喚起**

欧州では、2017年もスペイン、フランス等で新たなテロが発生しており、本年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### **「たびレジ」への登録のお願い**

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

### **パスポートダウンロード申請書の御案内**

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

### **クラクフでの領事出張サービスに関する御案内**

在ポーランド日本国大使館は、クラクフ市において、在留邦人の皆様を対象に、旅券(パスポート)の申請または交付、各類証明の申請、戸籍・国籍の届出、在外選挙人名簿登録の申請、在留届の受付等を行う領事出張サービスを実施します。同サービスの利用には、予約が必要ですので、当館領事部ウェブサイトを御確認の上、事前の手続をお願いいたします。会場及び実施日時は下記のとおりです。

会場: ANDEL 'S BY VIENNA HOUSE CRACOW, ul. Pawia 3 31-154 Kraków, Poland

実施日: 2018年9月15日(土曜日)

実施時間: 午前9時30分から午後12時15分まで、午後1時15分から午後4時まで

●本件に関する問い合わせ先

在ポーランド日本国大使館 領事部

代表電話: +48-22-696-5005(月曜～金曜日 9:00-12:30 13:30-17:00)

閉館時緊急連絡先: +48-22-696-5000(当館代表番号から自動転送されます)

E-mail: [cons@wr.mofa.go.jp](mailto:cons@wr.mofa.go.jp)

●予約方法や必要書類に関するお知らせ

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryojishutchou30krakow.pdf>

**海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について**

海外に在留する邦人の子女への教育振興を目的に活動する公益財団法人・海外子女教育振興財団は、海外子女教育専門の教育相談員による教育相談を実施しているところ、この度、いじめに関しても相談を受け付けることとなりました。詳細については、下記にお問い合わせください。

問合せ先: 公益財団法人 海外子女教育振興財団 事業部 教育相談事業チーム

電話: 81-3-4330-1352(受付時間: 月～金曜 10時～16時)

Eメール: [soudanjigyol@joes.or.jp](mailto:soudanjigyol@joes.or.jp)

**【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール:

[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp), 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

**【開催中】ピウスツキ兄弟：ペンと銃で独立へ【4月27日(金)～11月11日(日)】**

ゾリ市にて、ゾリ市立博物館主催による『ピウスツキ兄弟：ペンと銃で独立へ』が開催中です。プロニスワフ・ピウスツキによるアイヌ研究にフォーカスしたピウスツキ兄弟に関するイベントです。アイヌ文化及び日ポ関係史を紹介した展覧会、ワークショップ、講演、パフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: ゾリ市 (シロンスキエ県), ゾリ市立博物館, ul. Muzealna 1/2

詳細: <http://muzeum.zory.pl/>

**【開催中】日本の浮世絵展「女：美・力・忘我」【5月15日(火)～8月15日(水)】**

ワジェンキ公園にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。

開催場所: ワルシャワ市, ワジェンキ公園, ul. Agrykola 1

詳細: <https://www.lazienki-krolewskie.pl/pl>

**【予定】波武道祭り2018：波剣道大会【8月22日(水)～26日(日)】**

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『波剣道大会』が開催されます。

開催場所: ヴロツワフ市 (ドルノシロンスキエ県), ul. Górnickiego 20

詳細: <http://www.fundacja-nami.pl/>

**【予定】第5回国内日本犬種の展覧会【9月2日(日)】**

フタ・スタラ B 村にて、ポーランドケンネル協会チェンストホヴァ支部主催による『第5回国内日本犬種の展覧会』が開催されます。

開催場所: フタ・スタラ B 村 (シロンスキエ県), ul. Mickiewicza 12

読者からのお知らせ

**【開催中】今は亡きポスターの巨匠展: 亀倉雄策・田中一光・福田繁雄【6月28(木)~9月30日(日)】**

ソポト市にて、世界的に活躍した三人の日本人グラフィックデザイナーの回顧展が開催中です。故亀倉雄策氏(1915-1997)の東京オリンピック1964のポスター(復刻版)、故田中一光氏(1930-2002)のモダンな能楽ポスター、故福田繁雄氏(1932-2009)のトリックアートなど、記念碑的な作品の数々が展示されています。いずれもワルシャワ国際ポスタービエンナーレでの受賞や国際審査員の仕事を通して日ポの交流に貢献されました。

開催場所: ソポト市, 国立美術ギャラリー, Plac Zdrojowy 2

詳細:

<http://www.pgs.pl/wpisy/wielcy-nieobecni-swiatowego-plakatu-yusaku-kamekura-ikko-tanaka-shigeo-fukuda>

フェイスブックのイベント情報: <https://www.facebook.com/events/294585957745370/>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス ([newsmail@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmail@wr.mofa.go.jp))